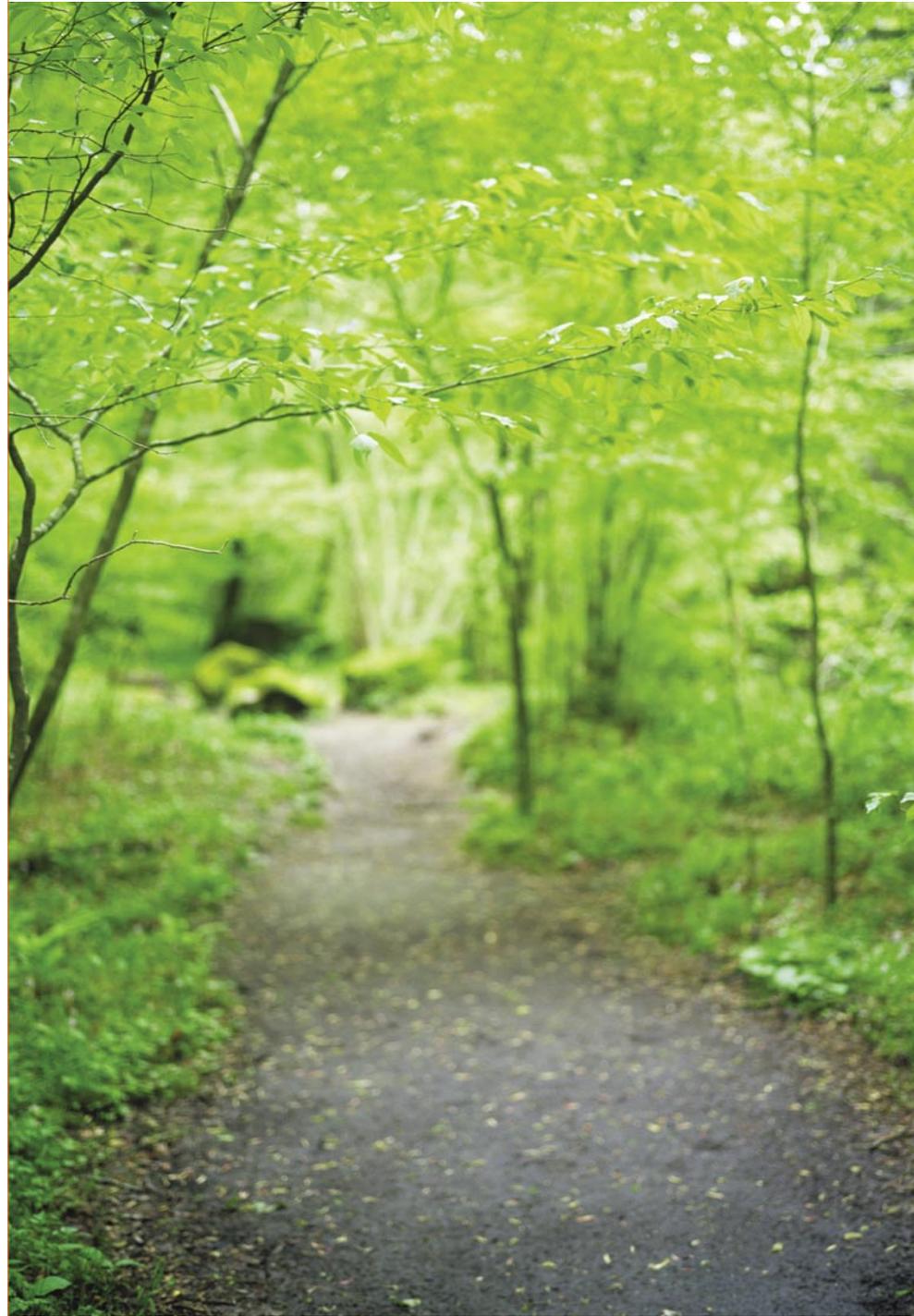


行きはよいよい、帰りはこわい



あなたの出で立つのも帰るのも主が見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。

「行きはよいよい 帰りはこわい……」。童謡『とおoryんせ』の歌詞の一節です。若い人たちに受け継がれ、歌われているのでしょうか。

小さい頃、暗くなるまで「外遊び」に夢中でした。玄関先の路地で、舗装のされていない地面に「ろう石」で線を引いて、ケンケンパーや陣取り合戦をしたものです。もちろん、かくれんぼや、月光仮面ごっこ、そして「くぐり遊び」もしました。

「くぐり遊び」をする時に、『とおoryんせ』を歌うのです。二人が向かい合ってアーチを作り、その下を一行縦隊になって、歌いながら通り抜けていきます。歌が終わった時、アーチの手が降ろされ、その中に閉じ込められた子が鬼になるのです。

子どもながらに、この歌に不気味なものを感じていました。「行きはよいよい、帰りはこわい、一体何のことだろう」と。さらに、そこは「天神様の細道」です。「神社の参道がどうして、そうなるの?」とってしまうのです。今も昔も、キリスト教会や、宗教全般に対して、同様の警戒心を抱いている人は少なくないということなのではないでしょうか……。

「とおoryんせ、とおoryんせ」と言っておきながら、「ちょっと通してくだしゃんせ」とお願いすると、「ご用の無い者、とおしゃせぬ」でしょ。これも解せません。

「お札を納めに参ります」。お札を見せながら、頭を下げ

詩編 121 編 8 節 (日本聖書協会・新共同訳)

下げ通って行くのでしょうか。お札を納めることができたなら、とにかく、めでたしめでたし、目的達成。「行きはよいよい」です。ところが、お札を納めてしまった今、空手になり、なぜ、ここに来たのか証明するものがなくなってしまいました。それで、「帰りはこわい」ということなのではないでしょうか。真相はわかりません。

先日、逆の体験をしました。デンマークのコペンハーゲンに一泊し、その翌日、午前中のみ自由時間でした。宿泊するホテルからほど遠くないところに、キルケゴールのお墓があることを知りました。地図を頼りに、街路の名を確かめながら、墓地を目指してひたすら歩きました。「まだかなあ」、「間違っていないかなあ」、「遠いなあ」と、不安を道連れに。

やっと墓地に辿り着き、彼の墓を発見。近くにアンデルセンの墓もありました。彼らが生き、思索し、創作したのはこの街だったのだとの感慨を新たに、同じ道に戻りました。帰り道、目に映る景色はまるで違って、「行きはこわい 帰りはよいよい」でした。

旅にたとえられる人生。いくつもの難関、関所があります。しかし、主なる神様が、あなたの出で立つのも帰るのも見守っていてくださいます。「安心して行きなさい」。イエス様のお言葉です。

M. T



大人を育てる
絵本からのメッセージ



としょかんライオン
ミシェル・ナードセン・作、ケビン・ホークス・絵
福本 友美子・訳・岩崎書店

う図書館に来てはいけな
いと言ひ放ちます。ライオンが
ルールを破ったのは、怪我を
した館長を助けるためです。
ライオンにとって、ルー
ルを守ることも、ライオンを
助けることが大切だったの
です。

大切なことは何でしょう？

イエスさまの時代にも律
法というルールがありまし
た。イエスさまは、律法を大
切にしなかつたわけではあ
りません。律法を守ることが
大切だけど、時には、それよ
りももっと大切なことがあ
ることを教えてくれている
のです。「安息日には何もし
てはいけない」というルールが
あるのに、イエスさまは苦し
んでいる人々を癒しました。
苦しんでいる人を「苦しんで
いる今、助けること」が大切
だったからです。みなさんも
お子さんと、いろんなルール
を作って生活をしていると
思います。そのルールを子ど
もたちが守れないこともあ
るでしょう。そんな時は、頭
なしに叱るのではなく、子ど
もなりに大切にしようとし
ていたことをまずはきちん
と聞いてあげたいものです。
子どもには、子どもなりの理
由があります。それを見過
さないで、気づいてあげられ
たらと思います。絵本の最後
が、またステキです。「たまに
は、ちゃんとした訳があつて
きまりを守れないことだつ
てあるんです」。

絵本という小さなこ
ものための本というイメー
ジがありますが、大人にとつ
ても生きるヒントになる本
がたぐひあつています。こ
は子育てという視点でお話
をしています。あらゆる人
間関係においてもお役立て
いただけようと思つています。

ルールよりも大切なもの

この本に出てくる図書館
にもルールがありました。
「図書館の中では、静かに
する」というルールが。そん
な図書館に、ある日ライオン
がやってきました。「ライオ
ンが図書館に来てはいけな
い」というルールはないの
で、館長はライオンが図書
館に来ることを認めました。子
どもたちにもまじつてお話会
に夢中になるお行儀の良い
ライオンは、そのうち、ふさ
ふさのしっぽで本棚のほこ
りを払つたりして図書館の
仕事も手伝つようになり、た
ちまち人気者になりました。
ところがある日、ライオンは
ルールを破り、図書館の中
で吼えてしまいました。日ごと
からライオンの存在をおも
しろくないと思つていたマ
クビーさんは、今がチャンス
とばかりにライオンを責め
るルールを破つたからには、も

生きていくためのルール

わたしたちは、毎日いろん
なルールを守りながら生き
ています。「食べる前には手
を洗つ」「スリッパを走らない
など、家庭や学校でのルー
ルから、市や国のルールなど
様々なものがあります。その
ルールは何のためにあるの
でしょう？ 例えば「食べる
前には手を洗つ」というルー
ルは、ばい菌の付いた手で食
事をするとき、ばい菌が身体に
入つて病気になるやすすいか
らです。「スリッパを走らない」
は、みんなが思い通りに走つ
ていては、ぶつかつて怪我を
するからです。ルールのほと
んどは、人と人が共に生きて
いくためにお互いを思いや
り、生きやすくなるためのも

聖書百物語 He Qi Arts



Spies Return from Cannan
by He Qi, www.heqiarts.com

偵察隊、カナンから戻る

あなたたちはそろってわたしのもとに来て、「まず人を
派遣し、その土地を探らせ、我々がどの道を上り、どの町
に行くべきか報告させましょう」と言った。それは名案
だと思われたので、わたしは各部族から一人ずつ、合
わせて十二人を選び出した。彼らは出発し、山地に上り、
エシュコルの谷に着きそこを偵察し、その土地の果実を
取って持ち帰り、「我々の神、主が与えてくださる土地は
良い土地です」と報告した。

申命記 1章 22～25節

たごごま

いのちを語る。

一粒の麦死なずば。

(ヨハネによる福音書12章24節)

本日冒頭の句はお若い方も(昔お若かつた方も)
一度は耳にしたことがあるのではないでしょ
うか。普段は聞き慣れない文語体が逆につい
て、そんな一文ですね。

「こは北海道、この季節になると麦畑に限りず、
様々な実りの絨毯をつぶさに見ることが出来ま
す。もし土地柄からピンとこない方は夏に咲き
誇つたあのひまわりを想像してみてください。あ
の種子を一粒一粒地面に植える時、また翌年力強
く生え、一面に広がり、たわわな実を実らせるの
ですが、老いるにつれ私はそれが不思議に感じて
います。

私たちは今年の春、縁あつて入会した「重症心身
障害児(者)を守る会」で、それをしじみ思いま
した。そこは小太郎のような知的にも身体的にも
最重度の障害がある子の親たちが様々な活動を広
げる場なのですが、諸先輩の辿られた今までの
道のりに、「この一粒の麦のたとえ話がだぶつて
くるのです。今でこそ数多の福祉施設がありますが、
私が生まれた頃なぞ小太郎が通える養護学校すら
皆無だったのだそうです(義務教育の小学校入学
拒否なぞまでは想像つきませんが)。それを現会長
を始め、有志の親御さんたちが子育てしつつ活動
を広げ、現在の全国区の会まで成長させ、そこ
に見え隠れする物静かな熱意の後姿に思いを馳
せるうち、「この私も思わず涙してしまいました」。

1年サイクルで「麦」が「死ぬ」ような急激な変
容ではないですが、一生の間「我が子」だけでなく
「他者」へも進んで自分の持つものを分かち合
い続けること、踏まれても踏まれても真つすべ
ゆる麦がタフなのです。次は彼らが実らせてくれ
た多くの実を絶やすことなく、地道に育んでい
けるよう精進しようと思つばかりです。今私たち
が歩める道があることに感謝しつつ。

